

○ 台湾向け牛肉輸出再開、30カ月齢以下、HACCP管理のと畜条件に

農水、厚労両省は22日、台湾が日本産牛肉輸出施設29施設を承認したと発表した。承認された施設からは、同日から台湾向けの日本産牛肉輸出が可能となっている。厚労省の都道府県知事、保健所設置市長らに向けた通知では、今後の台湾の衛生当局との協議により当該要綱の改正および輸出可能施設の追加などを行うとしている。

厚労省が発表した、対台湾輸出牛肉取扱要綱によると、と畜場についてはHACCP方式による衛生管理手法の導入が必須。台湾向け輸出の出生・飼養の条件は、福島、茨城、栃木、群馬それに千葉の5県を除く日本で出生飼育された牛、または台湾への牛肉輸出が許可されている国で出生し、かつ日本で100日以上飼育されている牛の肉であること。

地域や月齢の条件はあるものの、400万人の訪日客、2,300万人の人口を持ち、日本から距離的にも輸出しやすい大きなマーケットが開けたと言える。米国向け輸出の低関税枠が消化された状況の中で、台湾向け輸出は輸出拡大に向けた大きなステップとなりそうだ。農水省は、「引続き輸出拡大に向け、その他の国とも解禁協議や月齢などの要件の緩和について協議を進めていく」としている。今回、認定された台湾輸出牛肉希望施設は次の通り。

【北海道】▽北海道畜産公社道央事業所早来工場早来食肉流通センター・北海道畜産公社道央事業所早来工場(施設番号HO-1)▽北海道畜産公社道東事業所北見工場北見地区総合食肉流通センター(HO-2)▽北海道畜産公社道東事業所十勝工場十勝総合食肉流通セン

ター(HO-3)▽北海道畜産公社道央事業所上川工場上川総合食肉流通センター・北海道畜産公社道央事業所上川工場(AC-1)。

【岩手県】▽岩手畜産流通センター(I-1)【秋田県】▽秋田県食肉流通センター・秋田県食肉流通公社(AKC-1)【山形県】▽山形県総合食肉流通センター・山形県食肉公社(山形県10)▽米沢市営と畜場(山形県4)【埼玉県】▽和光ミートセンター・アグリス・ワン和光ミートセンター牛肉加工室(SA-1)▽越谷食肉センター・IHミートパッカー東京ミートセンター(KOC-1)【山梨県】▽山梨食肉流通センター(YN-1)【岐阜県】▽飛騨食肉センター・飛騨ミート農業協同組合連合会(GI-1)【滋賀県】▽滋賀食肉センター(S-1)【兵庫県】▽和牛マスター食肉センター(HMJ-1)▽神戸市立食肉センター・ケイ・ピー・シー(KOBE-1)【徳島県】▽徳島市立食肉センター・フジミツハセガワ(TOKU-1)▽にし阿波ビーフ(TOKU-2)【福岡県】▽福岡市中央卸売市場食肉市場(FC-1)【長崎県】▽日本フードパッカー諫早工場(NG-1)【大分県】▽大分県畜産公社(OI-1)【熊本県】▽熊本畜産流通センター(KU-2)【宮崎県】▽ミヤチク高崎工場(M-1)▽ミヤチク都農工場(N-2)▽サンキョーミート霧島ミート工場(M-3)【鹿児島県】▽ナンチク(k-1)▽サンキョーミート有明ミート工場(K-2)▽阿久根食肉流通センター・スターゼンミートプロセッサー阿久根工場(K-3)▽JA食肉かごしま南薩工場(K-4)△ジャパンファーム大口処理工場・日本フードパッカー鹿児島(K-9)。

【乳雄去勢(B2、B3)パーツ相場】(25日) 小間が動くが、交雑の影響もあり保合

部位	価格	概況	部位	価格	概況
かたロース	1,750 ~ 1,800	保合	うちもも	1,500 ~ 1,550	保合
ウデ	1,400円中心	保合	しんたま	1,400円中心	保合
かたバラ	1,300円中心	保合	らんいち	1,500円中心	保合
ヒレ	4,800円中心	保合	そともも	1,400円中心	保合
ロース	3,100円中心	保合	スネ	1,250円中心	保合
ともバラ	1,050円中心	保合	(注)かたロースはネック付		

【概況】秋らしい天候になり、量販店などでは小間切れ・切り落としが動く。その一方でヒレの動きが止まる。ロイン系

ももう一つ。スネは高値が続き一時動きが止まっていたが、こちらも季節的に動き出す。スソ物などで唱えを上げたいところだが、交雑種の2等級の安価な玉が出まわり、玉不足のホルスの代替に使われる部分もあって相場は上がっていない。2等級の下の方の玉と言っても交雑種であり、これがホルスの相場を下回るのは初めて。出荷頭数ではホルスの減少が続く一方で交雑種の出荷が増えており、こうした逆転現象が今後も続くのか注視される。